

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第31週の発生動向

トピックス

・風しん(全数把握対象疾患)の報告が1例あった。高鍋保健所管内からの報告で、50歳代女性、ワクチン接種歴は不明である。

全数報告の感染症 (31週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 5 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 7 例。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 2 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、破傷風 1 例、百日咳 7 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	リンパ節結核	右腋窩リンパ節の腫大と軽い圧痛
		延岡	80 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日向	80 歳代	男	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、O26(VT型不明)
			0~4歳	男	—	水様性下痢、発熱、O26(VT型不明)
			0~4歳	女	—	水様性下痢、発熱、O26(VT型不明)
			0~4歳	男	—	水様性下痢、O26(VT1)
			0~4歳	男	—	水様性下痢、嘔吐、発熱、O26(VT型不明)
			0~4歳	男	無症状病原体保有者	O血清型不明(VT1)
			40 歳代	男	無症状病原体保有者	O血清型不明(VT1)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70 歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、腹痛、下痢
		日南	60 歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	70 歳代	男	—	肺炎
	破傷風	小林	50 歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、呼吸困難(痙攣性)、ワクチン接種歴:無
	百日咳	日南	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳
			10 歳代	女	—	持続する咳
			10 歳代	男	—	持続する咳
		高鍋	40 歳代	女	—	持続する咳
	中央	10 歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
	風しん	高鍋	50 歳代	女	検査診断例	結膜充血、発疹、ワクチン接種歴:不明

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は744人(定点当たり23.4)で、前週比105%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

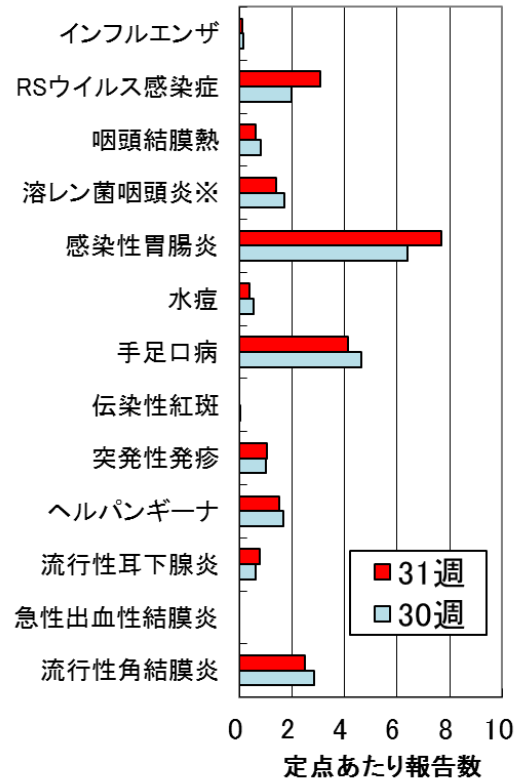
報告数は108人(3.1)で、前週比154%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.74)の約4.2倍である。延岡(9.8)、高鍋(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳以下が全体の約9割を占めている。

【手足口病】

報告数は145人(4.1)で、前週比90%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(7.2)の約0.6倍である。高千穂(20.0)、小林(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳~3歳が全体の約8割を占めている。

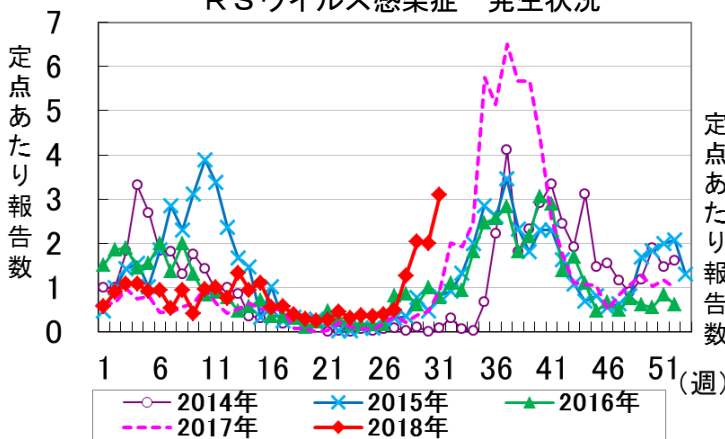
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

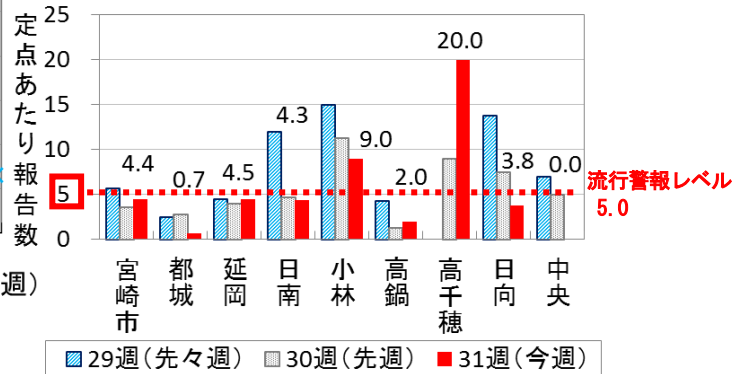


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎: 宮崎市保健所から1例報告があり、20歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	流行性耳下腺炎(7.3)
小林	手足口病(9.0)
高鍋	なし
高千穂	水痘(5.0)、手足口病(20.0)
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(25.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(4.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 30 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 30 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	344 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	182 例		
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	14 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	3 例
	マラリア	1 例	ライム病	1 例	類鼻疽	1 例
	レジオネラ症	32 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	22 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	81 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	216 例	風しん	15 例	麻しん	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特にない。

ヘルパンギーナの報告数は 9,733 人(3.1)で前週比 124%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(3.4)の約 0.9 倍である。長野県(8.6)、山形県、静岡県(各 8.4)からの報告が多く、年齢群別では 1~4 歳が全体の約 8 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第31週(07月30日～08月05日)

疾病名		第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	9	6	5	1							
	定点あたり	0.16	0.10	0.33	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	70	108	21	5	39	2		29		9	3
	定点あたり	2.00	3.09	2.33	0.83	9.75	0.67	0.00	7.25	0.00	2.25	3.00
咽頭結膜熱	報告数	28	21	2	2	5	5		6		1	
	定点あたり	0.80	0.60	0.22	0.33	1.25	1.67	0.00	1.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	60	49	16	11	11	1		2		7	1
	定点あたり	1.71	1.40	1.78	1.83	2.75	0.33	0.00	0.50	0.00	1.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	224	269	48	41	10	35	54	12	6	38	25
	定点あたり	6.40	7.69	5.33	6.83	2.50	11.67	18.00	3.00	6.00	9.50	25.00
水痘	報告数	19	14	5	2	1		1		5		
	定点あたり	0.54	0.40	0.56	0.33	0.25	0.00	0.33	0.00	5.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	162	145	40	4	18	13	27	8	20	15	
	定点あたり	4.63	4.14	4.44	0.67	4.50	4.33	9.00	2.00	20.00	3.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	36	11	5	6	1	6	3	1	2	1
	定点あたり	1.00	1.03	1.22	0.83	1.50	0.33	2.00	0.75	1.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	58	53	7	5	11	10	13	5		1	1
	定点あたり	1.66	1.51	0.78	0.83	2.75	3.33	4.33	1.25	0.00	0.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	21	27		1	4	22					
	定点あたり	0.60	0.77	0.00	0.17	1.00	7.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	15	9		6						
	定点あたり	2.83	2.50	3.00	0.00	6.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～31週)

2類感染症	結核	110例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24例(7)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	8例(2)	レジオネラ症	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例(1)
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例(1)	百日咳	201例(7)	風しん	2例(1)

()内は今週届出分、再掲